

点訳通信

43号

盲人情報文化センター 点字製作係
550-0002 大阪市西区江戸堀 1-13-2
TEL 06-6441-0015 FAX 06-6441-0039

点字とのつきあい その3

小原二三夫

8月下旬から1ヶ月あまり、東事業所（テクティ）のほうでも仕事をする事になり、こちらでの仕事の時間がすこし短くなっています。皆様には、たいへん御迷惑をおかけしています。私も片付けなければならない仕事が増えてきていますが、皆さん遠慮なさらずにどんどん質問や校正に誘ってください。

さて今回は、私が点字の図をどのように理解するようになっていったか、その過程について書きます。分量も多く、分かりにくい箇所もあります。興味のある方は、コーヒーでも片手にごゆっくりどうぞ。また興味のわからない方はどうぞ読み飛ばしてください。

なお以下はあくまでも私個人の場合であって、あまり一般化はできないと思います。その点も考慮してお読みください。

私が触覚で見た世界と視覚で見た世界との違いに初めて気付かされたのは、たぶん小学1年の夏休みの事だったと思います。3歳違いの妹がクレヨンでなにか描いているようでした。何を描いているのか聞いてみると、「木」と言いました。それなら私も描けると思い（木のだいたいの形は触って知っていると思っていましたから）、私もクレヨンを使って描きはじめました。まず縦に棒を描き、その途中から何本も枝が出てるように、斜め上に線を描きました。

ところが、妹は「それは木じゃない」と言って、クレヨンを持った私の手を取り、まず縦に棒を描いた後、その棒の上のほうになんと大きな円を描いたのです（その円の中にもなにか描いたようでした）。私は唖然としました。そんな円は木のどこにもありません。おまけに、近くにいた姉までも、私の描いた木と妹に描かされた木を見比べて、もちろん後のほうが木に見えると言うのです。

この違いをそれなりに受け入れられるようになったのは、それから10年近く経った、中学の終りから高校の初めころだったと思います。視覚の場合、点と点の間に簡単に線を引いて全体の輪郭を直ちに〈見る〉ことができるのです。そして、上の例では、整った形の木を遠くから見た場合、枝の先端を結べばほぼ円に近い形になるのかなあ、と自分なりに納得しました。そのころになってようやく、触覚から得られた個別の情報を結び付けて、かなり時間はかかりますが、頭の中で全体的な形をイメージすることができるようになりました。

点字で描かれた図を初めてみたのは、小学低学年のころの算数の教科書だったと思います。それには円や三角形や四角形など、いわゆる平面図形が描かれていました。これらの図形は触って理解するのにさほど支障はありませんでした。

しかし、小学5年か6年の算数の教科書に載っていたバケツの図を初めて触った時には、またはも触覚と視覚の違いに驚かされました。そのバケツの図は、台形の上と下に楕円形がくっついたような図でした。私の第一印象は、「これはバケツではない」というものでした。というのも、触覚ではバケツはまず丸と思うのに、その丸はこの図のどこにもありません。

この図の台形の部分については、意外と早く理解できました。バケツを縦に切った時の切り口の形を想像すればいいのですから。でも、楕円形の部分については、なかなか分かりませんでした。数年後ようやく、見る方向と円との角度によって、その〈見える〉形が変わる、という事に気がつきました。

私は盲学校では、残念ながら、点字の図とそれが示す物とを具体的に対応させて丁寧に説明してもらえよう機会に恵まれませんでした。点字の図を手掛りに、私は視覚で見た世界を理解しようと私なりに試行錯誤していったようです。私のこの試行錯誤の過程でプラスに働いたと思われる経験を、次に2、3書いてみましょう。

小学高学年のころ、私はしばらくの間点字で作る模様に凝ったことがあります。これは点字板を使って作るもので、点字用紙を固定する時に空く上下二つの穴の上のほうを下のピンに固定することで、行と行の間にも点を打てるようにして模様を作るのです。初めはほとんどランダムに点を組み合わせて遊んでいましたが、次第にあらかじめ頭の中で点の組み合わせを考え、こんな模様ができるだろうと想像してから、実際に点を打って模様を作るようになりました。

(実際の例を示せないのが残念です。)これは、頭の中で図を構成していくトレーニングになったようです。

中学の理科で光やレンズのことを習う機会がありました。鏡を使って反射の法則を(熱によって)実体験したり、凸レンズの焦点で紙を焼いたりしました。でも、実像や虚像、正立像や倒立像といったことはまったく分かりません。私はなんとか分かるようにして、高校の3単位の物理の教科書も参考にしながら、必死になって(頭の中で)作図を繰り返し、いちおう理屈の上では解決できました。でもそれは、まった

く経験に関係のない論理の上でのことでしたから、〈分かった〉という喜びのわからない、とても空疎な感じの〈理解〉でした。(今はもう、その作図さえ頭の中で再現する力はありません。)それでも、こんな事をしていると、先のバケツの図の楕円形の問題も意外とすんなり分かるようになりました。

もう一つ、中学時代で忘れられない経験があります。それは、1年間だけ非常勤の先生が担当した美術(教科名は技術家庭だったような気がします)の授業です。この授業の特徴は、美術以外の事も含め、授業時間中に生徒が何をしてもいい、ということでした。この先生は噂では日展の審査員もしたこともあると言う彫刻の専門家で、おそらく見えない人にははじめて出会ったのでしょう、私はその試行錯誤の授業にどんどん吸い寄せられていきました。(もちろん、そういうことに興味のない生徒は自由に本を読んだりしていました。)先生の作った女の横顔の石膏像を触って、きれいにカールした髪の毛一本一本など、そのリアルな表現に感動したり、先生の描いた油絵を触って丁寧に説明してもらったりしました(こちらのほうは、あまりよく理解できませんでした)。また、初め



は石鹸で、次には木で彫刻をしたり、さらに粘土を校外に取りに行つて(実際はほとんど泥でしたが)、なんとか人の像を作ったりしました。

そして次に、「絵を描こう」ということになりました。初めは、ただ絵の具を混ぜ合わせたり(たいていは元の色よりきたない色に成りました)、何色かの絵の具を紙に塗りそれを二つ折りにして(ロールシャッハ・テストのように)先生に何に見えるか尋ねたりしていました。でも、こんな事では二人ともすぐ厭きてきて、先生が画用紙に一点ずつ穴を空けて絵の概形を描き、それに合せて私が絵の具を塗り分けることになりました。それは、手前に田んぼが広がり、道を隔てて遠くに雪を頂いた山が見え、空には雲がすこし浮んでいる、というようなごく単純な絵でした。でも、私はわくわくしながら絵の具を塗っていきました。一番奇妙に感じたのは、水平に広がっている田んぼの上に、垂直方向にあるはずの山をそのまま水平方向の延長

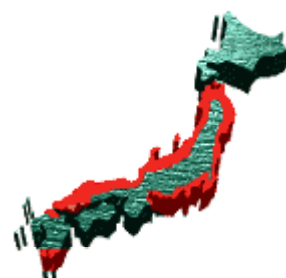
上に描くことでした。私は、山の辺りから画用紙を斜め上に折り曲げたほうが実際の姿に近いのでは、と先生に言いましたが、先生は、目で見ると水平のままでもちゃんと高さを感じることができる、と言いました。その時、遠近法のことや、見える部分と影の部分を示すことで立体感を表わせることなどについて説明を受けました（これらについては、その時も今も充分には理解できていません）。

このような美術の授業で、私は視覚についての感覚的な理解への手掛りを、ほんの少しですが、得たような気がします。さらに、中学・高校の数学などで、色々な関数のグラフ、逆関数、対称移動や回転移動、座標を使った位置の表し方等を知りましたが、これらは図を論理的に理解したり、頭の中で図をイメージする時にとても役立っています。

高校の物理か化学の教科書で、塩化ナトリウムの結晶構造の図がありました。それは斜め上から見た図で、4角形の対角が切り取られたような6角形の図でした。私は、このような図を触ってその立体構造を頭の中で再現するよりは、言葉だけの説明あるいは空間座表を使った説明

のほうが、はるかに分かりやすいのになあ、と思ったりしました。

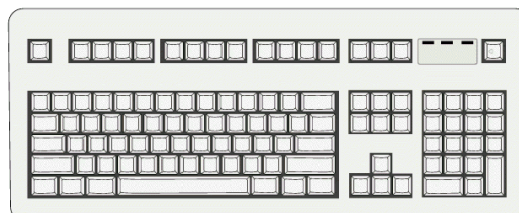
私は今でも、立体を表わした図を触ってそれを頭の中でイメージすることは、充分にはできません。動物など動く物や、一部だけをとくに強調した図は、しばしば何が何だか分からなくなってしまいます。見えない人の中にも、私よりもとても良く図を理解できる人もいますし（たいていは視覚経験のある方のような）、またそうではない人もいます。視覚経験をほとんど持たない私が、ある程度図を理解できるようになったのは、とにかく見える世界に興味を持ち続け、少ないながらも機会があるごとに、図や絵をそれなりに理解しようと試みてきたからだと思います。視覚経験のない人でも、小さいころから豊富な材料と適切な指導・説明が与えられれば、私などよりもずっと図を良く理解できるようになると確信しています。



お願い ファイル名は…

Windows パソコンが普及して、「Win-BES」を利用されている方が増えてきています。今までのDOS のパソコンに比べいろいろな事ができるようになってきました。その一つにファイル名があります。DOS のパソコンではファイル名が半角8文字以内に制限されていましたが、Windows はマスあけも含め自由度が増してきました。しかし、当館のパソコン環境はまだまだ DOS マシンが健在です。ロングネームや全角文字、マスあけなどをされますと使えないなどの不具合が生じます。

大部分のパソコンが Windows に変わるまでは、ファイル名は半角8文字以内にとどめて置いて下さい。また、利用者も DOS 環境で使っている方が大半です。ロングネームを付けられるとフロッピー図書を貸し出すたびにファイル名を変更しなければなりません。



お知らせ 勉強会

勉強会を10月24日（火）に開催します。今回のテーマは「表の書き方」です。最近の図書は視覚的の表現が多用されており、図表の処理を抜きにして点訳できない時代がやってきたと行っても過言ではありません。

勉強会をスムーズに進めるにあたって、参加されます前に下記の表を各自点訳しておいて下さい。いろいろな点訳方法があると思います。また日頃思っている疑問点や質問などまとめておいていただければ話は活発になり有用な勉強会になることうけあいです。参加をお待ちしています。

日時 10月24日 火曜日 13時～
 場所 9階ホール
 テーマ 「表」の処理

12-④ 輸送機関別国内旅客輸送量

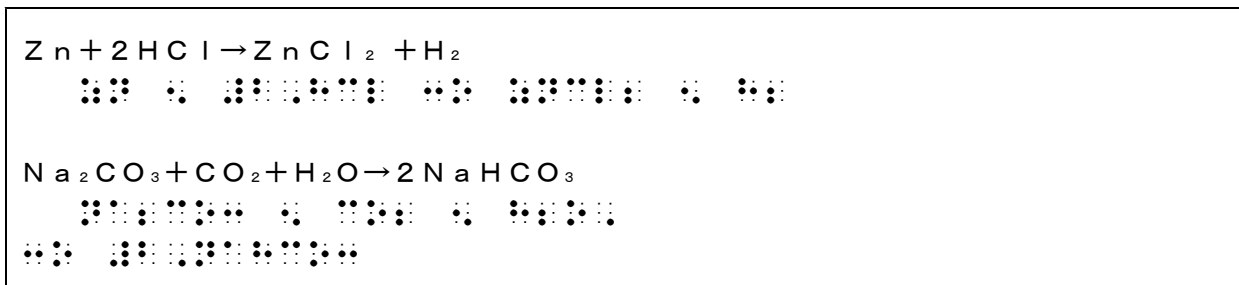
	輸送人員（億人）	輸送人キロ（億人キロ）	平均輸送距離（キロ）
鉄道	222.4	3,949.3	17.8
JR	88.6	2,476.5	28.0
民鉄	133.9	1,472.8	11.0
自動車	621.5	9,449.7	15.2
バス	73.1	929.0	12.7
乗用車	384.3	6,314.3	16.4
軽乗用車	134.3	1,486.1	11.1
貨物自動車	29.4	720.3	24.5
航空	0.86	732.4	856.1
旅客船	1.45	53.5	37.0
総輸送量	846.3	14,184.9	16.8

（運輸白書）

(ポイント)

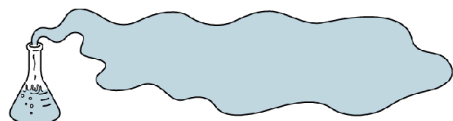
1. 化学式中の小括弧には「⋮～⋮」を使う。
2. イオンは、元素記号の後に3の点を打ち、それに続けて「⋮」または「⋮」を必要な数だけ書く。

【例3】



(ポイント)

1. 化学反応式はできるだけ改行して書く。やむを得ず文章中に書く場合は、前後を2マスあけて書く。
2. 化学反応式中では、化学式の最初についている大文字(⋮)は省略する。但し、数字の後の大文字は省略しない。
3. 化学反応式が1行に入らない時は、行末につなぎ符(⋮)を書き、次の行頭に → (⋮⋮) + (⋮) などの記号(関係記号や演算記号)がくるように書く。



読み方調べ

吉原澄江 さんより米川明彦著『集団用語辞典』を御寄贈いただきました。この辞書は「犯罪者集団・職業集団・趣味娯楽集団など160集団から7300語を網羅」した辞典です。順次登録してゆきます。

中国、韓国・朝鮮、モンゴルなど漢字で書かれた外国の地名の内、主要部分を登録しました。また、やたらと諏訪地方関係の用語に強くなりました。ご利用下さい。

毎週、**2000件**前後登録しています。昨日はヒットしなくても今日は見つかるかも？

Win-BES パソコン講座の4回目です。今回は基本的な操作のひとつである「検索」と「置換」です。データを訂正したり、確認したりする際にこの機能を使えば、該当する箇所を目で探すよりすばやく、もれなく確実に探し出すことができます。BE や DOS-BES をお使いの方も、操作はほとんど同じですので、是非試してみてください。

先日ある方から「これを見ながら、いつも必ず一度操作してみてください」というお話を伺い、「試してくださっている方がいらっしゃる」のをたいへんうれしく思いました。これから的確な説明を心がけてまいります。ご質問やご要望がございましたら、どんな簡単なことでもご遠慮なくお聞かせください。
(担当：中村三枝子)

検索 (BE・DOS-BES・Win-BES)

「検索」とは指定した文字や記号を探す機能です。

- ① 校正で見つかった修正しなければならない単語を探す時
- ② ある単語が正しく入力できているかどうか、確認したい時
- ③ 漢字の読みがわからなくて取りあえず打った文字を探す時

などにたいへん便利です。該当の箇所にカーソルが移動しますので、編集画面に戻せばすぐ修正することもできます。

《操作方法》

- (1) Win-Bes → メニューの **編集** → **検索** をクリックする。
BE・DOS-BES・Win-BES → **F2**

検索

入力された文字列を検索し、もし見つかった場合は現在位置をその位置に移動します。
検索する文字列： [:::]:_____]

検索するときは↑↓のキーで検索する方向を指定してください。

文頭方向に検索 **文末方向に検索** **ESC：編集画面に戻る**

- (2) 探したい文字を入力する（改行マーク・改ページマーク・スペースもOK）。
- (3) 検索を開始するには、
Win-Bes → 「文頭方向に検索」または「文末方向に検索」をクリックする。
BE・DOS-BES・Win-BES → [↓] または [↑]
[注] 文章全体にわたって検索する場合は、あらかじめ文頭または文末にカーソルを移動してから検索するほうがよい。
- (4) 探し出すとその文字にカーソルが移動する。
- (5) 続けて検索する場合は
Win-Bes・DOS-BES → [SHIFT] + [CTRL] + [↓] または [↑]
BE → [↓] または [↑]

(6) 検索文字が見つからない場合は、**見つかりませんでした。**と表示される。

- [注] ① BE で検索処理を中止したい場合は、途中で[Esc]キーを押すと、編集画面に戻る。
② ページ行は検索の対象範囲に入らない。

ページ行の検索 (BE・DOS-BES・Win-BES)

ページ行の検索は前述の操作では対象外になりますので、次の方法で行います。入力した原本ページを探す場合などに利用します。

《操作方法》

- (1) Win-Bes → メニューの **編集** → **ページ行検索** をクリックする。
または [Shift]+[Ctrl]+[F 6]
BE・DOS-BES → [Shift]+[Ctrl]+[F 5]

<p>検索</p> <p>入力された文字列をページ行から検索し、もし見つかった場合は現在位置をその位置に移動します。</p> <p>検索する文字列： [:::_____]</p> <p>検索するときは↑↓のキーで検索する方向を指定してください。</p> <p>文頭方向に検索 文末方向に検索 ESC：編集画面に戻る</p>

- (2) 探したい文字を入力する（改行マーク・改ページマーク・スペースもOK）。
- (3) 検索を開始するには、
Win-Bes → 「文頭方向に検索」または「文末方向に検索」をクリックする。
BE・DOS-BES・Win-BES → [↓] または [↑]
[注] 文章全体にわたって検索する場合は、あらかじめ文頭または文末にカーソルを移動してから検索するほうがよい。
- (4) 探し出すと、
Win-Bes・DOS-BES → その文字にカーソルが移動する。
BE → そのページにカーソルが移動する。
- (5) 続けて検索する場合は
Win-Bes・DOS-BES → [SHIFT]+[CTRL]+[↓] または [↑]
BE → 「↑」または「↓」
- (6) 検索文字が見つからない場合は、**見つかりませんでした。**と表示される。

見出し・段落の検索 (BE・DOS-BES・Win-BES)

「見出しやカーソルをジャンプさせる」のも「行頭が4マス以上あいている行を探し出す」という

検索機能です。

BE・DOS-BES と Win-BES では、キーが違います。この場合続けて検索するには、同じキーをもう一度押します。

	Win-Bes	BE・DOS-BES
次の見出し位置	[SHIFT] + [pagedown]	[CTRL] + [F11]
前の見出し位置	[SHIFT] + [pageup]	[SHIFT] + [CTRL] + [F11]

★見出し位置とは、行頭に4マス以上のマスあけがある行の1マス目。

	Win-Bes	BE・DOS-BES
次の段落位置	[SHIFT] + [End]	[CTRL] + [F12]
前の段落位置	[SHIFT] + [Home]	[SHIFT] + [CTRL] + [F12]

★段落位置とは、行頭に1マス以上のマスあけがある行の1マス目。

置換 (BE・DOS-BES・Win-BES)

「置換」とは指定した文字や記号を探し、それを指定した別の文字や記号に置き換える機能です。修正しなければならない同じ単語が複数ある時、修正に一定の法則がある時などにたいへん便利です。検索した中に置き換えたいものと置き換えたくないものが混じっていても「はい/いいえ」で個別に処理できます。また検索文字と置換文字のマス数が違っていても、自動的に次の文字を繰り上げたり、繰り下げたりしてくれます。

《操作方法》

- (1) Win-Bes → メニューの **編集** → **置換** をクリックする。
BE・DOS-BES・Win-BES → **F3**

置換

入力された文字列を検索し、置換文字列で置き換えます。
タブキーを押すとカーソルは検索・置換文字列・置換方法の欄に上下します。

検索する文字列： [::: ::::] _____]
置換する文字列： [::: ::::] _____]

置換する方法： 逐次置換 一括置換

検索する時は↑↓のキーで検索する方向を指定してください。

文頭方向に検索 **文末方向に検索** **ESC：編集画面に戻る**

- (2) 探したい文字を入力し、タブキー (BE・DOS-BES では改行キー) を押す。
(改行マーク・改ページマークを検索文字列として入力できない)
- (3) カーソルが置換文字列欄に移動するので、置き換える文字列を入力し、タブキー (BE・DOS-BES では改行キー) を押す。
- (4) カーソルが置換方法欄に移動するので、逐次置換または一括置換を選ぶ。
(BEには置換方法はなく、すべて逐次置換となる)

* タブキー (BE・DOS-BES では改行キー) を押すとカーソルは「検索文字列」「置換文字列」「置換方法」の欄を交互に移動する。

- (5) 検索を始めるには、
Win-Bes → 「文頭方向に検索」または「文末方向に検索」をクリックする。
BE・DOS-BES・Win-BES → [↓] または [↑]
* 「↓」を押すとカーソル位置から文末方向に、「↑」を押すとカーソル位置から文頭方向に検索を開始する。
- (6) 逐次置換では「一致する文字列が見つかりました。置換しますか?」と表示されるので、置き換えるなら「はい」、置き換えないなら「→」で「いいえ」をクリックするか、カーソルを合わせて改行する。
- (7) カーソルが次の検索文字列に移動し、メッセージが表示される。
- (8) 検索文字列が見つからない場合は、**見つかりませんでした。** と表示される。

[注]

- ① BE で検索処理を中止したい場合は、途中で [Esc] キーを押すと、編集画面に戻る。
- ② 検索文字列だけ入力し、置換文字列に何も入力しないと、
「検索した文字列を削除する」 処理になるので、十分注意する。

一括置換は慎重に！！

一括置換は最後に「〇件置き換えました」と表示されるだけで、ひとつずつ個別に置換内容の確認ができません。また処理中に止めることもできません。**慎重に処理しないと、変えたくないところまで置換されてしまい、どこがどのように置換されたかわからなくなって、元に戻せなくなります。**

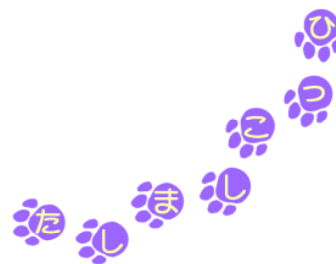
《例1》ニホン→ニッポンを一括置換したら、ニホンのままにしておきたいもの（日本酒、日本海、日本書紀、日本橋 [東京と大阪では読みが違う] など）までニッポンに変わってしまった。

《例2》第1指示符閉じ (⋮⋮) を第1カッコ閉じ (⋮) に置換しようとしたら、第1カギに続く点線 (⋮⋮⋮⋮) まだが (⋮⋮⋮⋮) となってしまった。

《例3》幸子という名前をユキコ→サチコにしたいと思って、ユキ (⋮⋮) →サチ (⋮⋮) と入れてしまい、「雪」や「行き」まで「サチ」となってしまった。

失敗の一例です。一括置換の検索文字はできるだけ長く、他まで影響しないようよく考えて、慎重に処理してください。

心配なら逐次置換でひとつずつ確認しながら置換していくほうを選んでください。



数学点訳の勉強会をはじめます

今まで数学点訳講座を受けられた方々から使わないでいると忘れそうという声がありますので、月1回位のわりで勉強会を開きます。

第1回 10月13日(金) 13:00~

参加希望の方は当日おいで下さい。(すでに数学点訳講座を受講された方のみ)

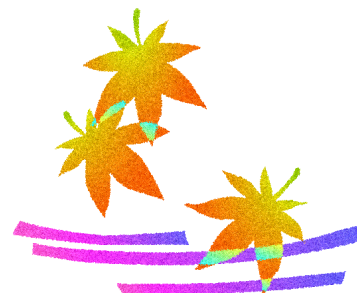
今後の予定などを含めて相談しましょう。



図形ソフト エーデルを使おう

点訳を図形だけで表現するのは難しいですが、補助的に使うと有効な場合があります。今回は講師に釣本さんをむかえ、図形ソフトエーデルの使い方を勉強します。エーデルは簡単な操作で楽しく描くことができます。ぜひ参加下さい。パソコンの都合で1回1~3名までとなっています。希望される方は下記の都合のよい日(すべて同じ内容です。6回講座ではありません)に参加してください。参加者は希望日を木村か中村まで申し込み下さい。

日時	10月17日(火曜日)	13時~
	25日(水曜日)	13時30分~
11月	7日(火曜日)	13時~
	15日(水曜日)	13時30分~
	21日(火曜日)	13時~
	29日(水曜日)	13時30分~



Timetable

9月	6日	2校者の集まり
	12日	各曜日担当者の集まり
	14日	点訳講習会・オリエンテーションとテスト
	20日	大東市社会福祉協議会・点訳講習会講師派遣（全8回）
	28日	2000年度点訳講習会開講 ～2001年3月末
10月	6日	グレードアップ講座（曜日担当者） ・大阪市点字競技会
	7日	振り替え休館
	13日	数学勉強会（数学講習会修了者を対象）
	17日	図形ソフト「エーデル」の使い方講習会
	18日	近点研 例会
	24日	勉強会（表の書き方）
	25日	図形ソフト「エーデル」の使い方講習会
11月	3日	「目の不自由な人の便利グッズ展 2000」
	7日	図形ソフト「エーデル」の使い方講習会
	15日	図形ソフト「エーデル」の使い方講習会
	16日	2校者の集まり
	21日	図形ソフト「エーデル」の使い方講習会
	28日	バスツアー（信楽）
	29日	図形ソフト「エーデル」の使い方講習会

余韻 触図と点字でギャグ漫画出版

漫画家の赤塚不二夫さんが視覚障害者も楽しめるようにと、「触図」と点字でギャグ満載の漫画を作った。ケムンパスやニャロメなどおなじみのキャラクターが勢ぞろいし、読者とともに迷路をたどりながらゴールを目指す趣向だ。

題して「赤塚不二夫のさわる絵本 よーいどん!」。このアイデアは、1998年末に食道がんの手術を受け、東京都内の病院に約半年間の入院中、突然ひらめいたという。「目の見えない人も、自分のギャグ漫画で笑えるんだ」

だが、こうした漫画は過去にほとんど例がない。赤塚さんは点字の学習絵本があると聞き、取り寄せた。その学習絵本では、動物や物体の輪郭が隆起した点で縁取られている。目の不自由な人はこの「触図」で形をつかみ、さらに点字による説明を指先で読み取る。

しかし、描写が複雑な漫画を点で表現するのは簡単ではない。「確かに、体が犬でしっぽがウナギのウナギイヌなどは、すぐには理解できないかもしれない。しかも絵に動きがあるから、なおさら。でも、目の見える人がキャラクターの性格などを説明してあげればいい」

目の見える人も一緒に楽しめるように、オールカラー刷り。途中、点字だけのセリフ部分もあり、赤塚さんは「逆にそこでは目の見えない人が、目の見える人に点字を教えてあげればいい。見える人、見えない人が一緒に生きてなくちゃ、ダメなんだから」と語る。小学館（定価2000円）

コラム

7月に発行された2000円札、もう御覧になりましたか。鳴り物入りで発行されたわりにはあまり流通していないようです。もしお持ちでしたらじっくり見てください。

以下朝日新聞記事から

2千円札の図柄は表が守礼門、裏が国宝「源氏物語絵巻」第38帖「鈴虫」と「源氏物語」の作者紫式部の絵になっています。



このうち、絵巻の部分は「鈴虫」の後半から「源氏物語」の主人公光源氏とその子冷泉院の絵と「鈴虫」冒頭の詞書きを重ねてあります。源氏50歳の秋です。

詞書きは、大半がひらがなで一部は漢字と変体仮名で書かれています。しかし、達筆で現代人にはなかなか読めません。しかも、印刷されている詞書きは「すゝむし（鈴虫）」という巻名と冒頭9行の上の部分。下部はカットされているため、意味がわかりにくくなっています。

意味は

八月十五夜の夕暮れに、佛の前に女三の宮（光源氏の妻）がおいでになって、端近くの庭を眺めながら念仏を唱えている。若い尼たちが花を奉ろうと仏具や水の音をさせ忙しそうに仕事をしているのはとても哀れなのだが、そこへ例のごとく源氏がお越しになって「虫の音が鳴き乱れる夕暮れですね」と…

なお、詞書きの中の「鈴虫」は現在のマツムシ。紫式部の時代には現在のスズムシが「松虫」と呼ばれていた、とされています。

2千円札裏に採用されている「源氏物語絵巻」の部分は、「新修日本絵巻物全集2」（角川書店）などによれば下の通り。かっこ内は意味・読み方。左の部分が印刷され、右（一部意識で掲載）は2千円札では分からない部分。

すゝむし（鈴虫）

十五夜農（の）遊（ゆ）ふ
二（に）宮於（お）盤（は）して八（は）
堂（た）万（ま）ひつゝ念珠
あ万（ま）支（き）三（み）多（た）ち二
徒（つ）るとてなら須（す）
のけはひなとき
いと那（な）三（み）にい所（そ）支（き）
流（る）二（に）連（れ）いのわ
いとしけく

くれに佛の御前
しちかく眺め
し給ふ若き
三人花たてま
闍伽坏（あ・か・つき）の音水
こゆさま変りたる
あへるいと哀れな
たり給ひて虫の音
みたるゝ夕かなと

となります。点訳するとなると大変ですね。

点字技能認定制度

すでに新聞の記事でご承知の方も多いと思いますが、日盲社協の「点字技能認定制度」の受付がはじまりました。当センターのボランティア資格とは直接関係ありませんが、興味のある方は挑戦してみたいかでしょうか。但しパソコンは使用せず、点字板かタイプライターを、また使用文字は墨点字ではなく点字そのものです。

以下、点字技能士に関する『点字毎日』記事を転載します。

来年から「点字技能士」検定

1月28日 東京と大阪で試験
社会的認知向上を図る

日本盲人社会福祉施設協議会(日盲社協、本間昭推理事長)は、点字技術と知識を持つ者を「点字技能士」として認定する検定試験を来年1月28日、東京と大阪で実施することを決めた。関係者は点字の社会的な認知を高めるとともに、点字離れへの歯止めになればと願っており、将来は「手話通訳士」のような国家資格として認定されるのを目標としている。運営委員には、日盲連、全国盲学校長会、日本点字委員会の代表が名前を連ねるなど、視覚障害関係者あがりの取り組みともいえ、その成功が期待されている。

実施要綱によると、「点字技能認定制度」の目的は、「点字に関する卓越した知識・技術を有する者に対して資格を付与することにより、点字関係職種専門性と社会的認知度を高め、合わせて点字の普及と点字の質の向上を図り、視覚障害者の情報アクセスを保障する」とある。このほか、中途視覚障害者をはじめ、施設関係者、点訳ボランティアなどが、点字を習得する上での目標として位置づけられるのも期待されている。さらに、検定試験に合格し「点字技能士」として認定された人が、点字の指導者として活躍できるような意味合いを持たせたいという狙いの一つだ。

検定試験は、18歳以上の人に受験資格を与え、学科試験と実技試験の2科目で実施する。出題はすべて点字で、解答も一部を除き点字器か点字タイプライターを用いて行う。学科試験は4者択一式で、点字のほか、視覚障害者福祉に関して幅広く知識や理解度を問う問題が出題される。

技能試験は墨字文を点字化する「点字化技能試験」と、点字文とその墨字原文を照合し、誤りを点字で指摘する「校正技能試験」の2種類。いずれも、点字使用者は墨字原文をテープ化したものを聞いて解答する。出題のレベルは一般的な日本語で、専門的な内容には触れないが、外国語や算数などについては、一般書に見られる程度の内容は含まれるという。検定試験の事務局は日盲社協内に置き、9月中旬から受験者を募集する予定。受験料は1万円。運営委員会では、一人でも多くの人に認定制度の存在をPRする考えだ。

